

ゲームプログラミングⅢ

○評価要件

- ☑シーン切り替え
- ☑ローディング画面

○概要

今回はシーン遷移を実装します。

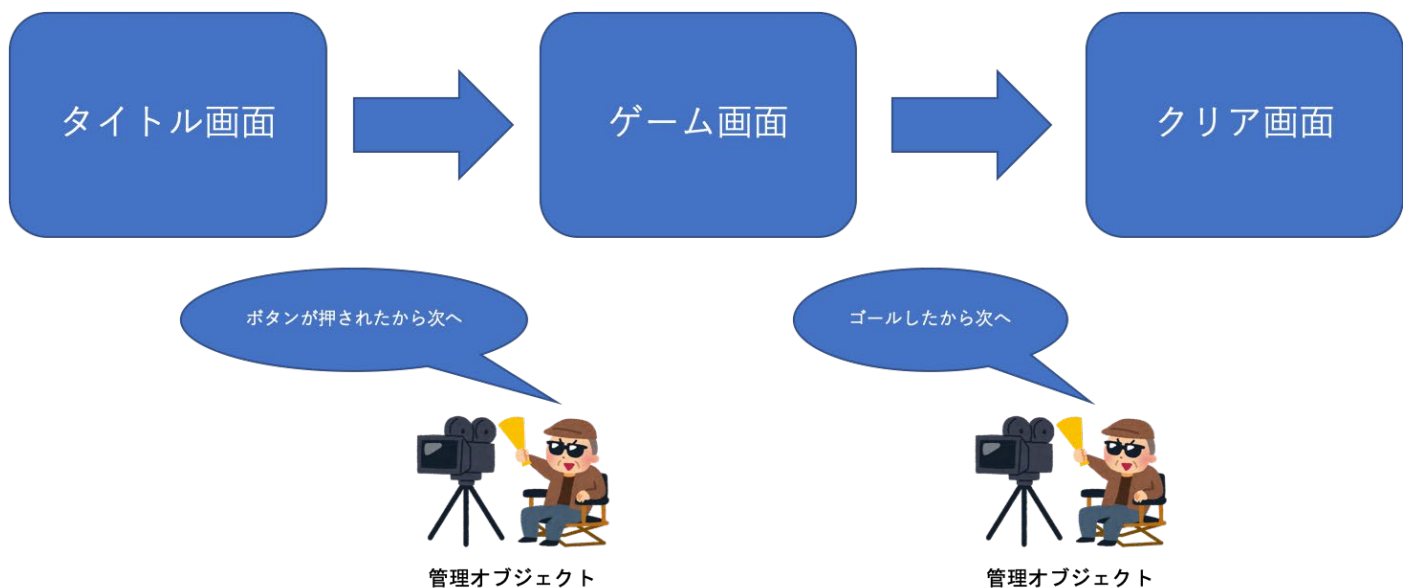
一般的なゲームはタイトル画面から始まってゲーム画面へ遷移してゲームを遊ぶ流れです。ゲームの仕様にもよりますが、リザルト画面やゲームオーバー画面に遷移した後、タイトル画面へ戻るなど「シーン」という区切りでゲームを構成していることが多いです

今回は簡単なシーン遷移システムを実装します。

現在はあらかじめ用意していたゲームシーンクラスにゲーム内容を実装しています。

タイトルシーンを作り、タイトルシーンからゲームシーンへ遷移するシステムを実装していきます。

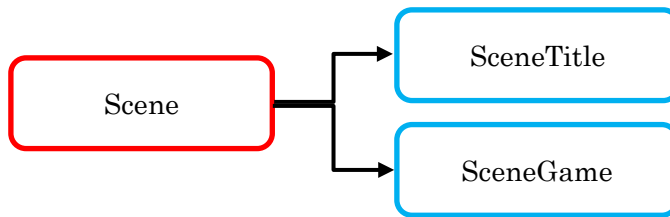
シーン遷移システムができた人はシーン切り替え時に Now Loading...などのローディング画面の表示に挑戦してみましょう。



ゲームプログラミングⅢ

○シーン遷移システム

今回は以下のクラス設計でプログラムを実装していきます。



まずはシーン遷移の流れをイメージしましょう。

- 1.シーンの遷移はシーンを管理するシーンマネージャーが行います。
- 2.シーンマネージャーはシーンを1つだけ保持します。
- 3.シーンマネージャーが保持しているシーンの更新処理と描画処理を毎フレーム実行します。
- 4.シーンを切り替えたいときはシーンマネージャーに新しいシーンを渡します。
- 5.シーンマネージャーは古いシーンの終了処理を実行します。
- 6.シーンマネージャーは渡された新しいシーンを保持します。
- 7.シーンマネージャーは新しいシーンの初期化を行います。



これらを実装すれば簡易的なシーン遷移システムが完成します。

ではまずシーンの基底となるクラスを実装しましょう。

Scene.h を作成し、下記プログラムコードを記述しましょう。

Scene.h

```
#pragma once

// シーン
class Scene
{
public:
    Scene() {}
    virtual ~Scene() {}
}
```

```
// 初期化
virtual void Initialize() = 0;

// 終了化
virtual void Finalize() = 0;

// 更新処理
virtual void Update(float elapsedTime) = 0;

// 描画処理
virtual void Render() = 0;

// GUI描画
virtual void DrawGUI() = 0;
};
```

タイトルシーンを実装しましょう。

SceneTitle.cpp と SceneTitle.h を作成し、下記プログラムコードを記述しましょう。

SceneTitle.h

```
#pragma once

#include "System/Sprite.h"
#include "Scene.h"

// タイトルシーン
class SceneTitle : public Scene
{
public:
    SceneTitle() {}
    ~SceneTitle() override {}

    // 初期化
    void Initialize() override;

    // 終了化
    void Finalize() override;

    // 更新処理
    void Update(float elapsedTime) override;

    // 描画処理
    void Render() override;

    // GUI描画
    void DrawGUI() override;

private:
    Sprite* sprite = nullptr;
};
```

SceneTitle.cpp

```
#include "System/Graphics.h"
#include "SceneTitle.h"

// 初期化
void SceneTitle::Initialize()
{
    // スプライト初期化
    sprite = new Sprite("Data/Sprite/Title.png");
}

// 終了化
void SceneTitle::Finalize()
{
    // スプライト終了化
    if (sprite != nullptr)
    {
        delete sprite;
        sprite = nullptr;
    }
}

// 更新処理
void SceneTitle::Update(float elapsedTime)
{
}

// 描画処理
void SceneTitle::Render()
{
    Graphics& graphics = Graphics::Instance();
    ID3D11DeviceContext* dc = graphics.GetDeviceContext();
    RenderState* renderState = graphics.GetRenderState();

    // 描画準備
    RenderContext rc;
    rc.deviceContext = dc;
    rc.renderState = graphics.GetRenderState();

    // 2Dスプライト描画
    {
        // タイトル描画
        float screenWidth = static_cast<float>(graphics.GetScreenWidth());
        float screenHeight = static_cast<float>(graphics.GetScreenHeight());
        sprite->Render(rc,
            0, 0, 0, screenWidth, screenHeight,
            0,
            1, 1, 1, 1);
    }
}

// GUI描画
void SceneTitle::DrawGUI()
{
}
```

ゲームプログラミングⅢ

このタイトルシーンは画面全体に「TITLE」と書かれたスプライトを表示するだけのシーンです。まずはシーン管理システムでこのシーンを表示できるようにしましょう。

シーンの管理を行うシーンマネージャーを実装しましょう。

SceneManager.cpp と SceneManager.h を作成し、下記プログラムコードを実装しましょう。

SceneManager.h

```
#pragma once

#include "Scene.h"

// シーンマネージャー
class SceneManager
{
private:
    SceneManager () {}
    ~SceneManager () {}

public:
    // 唯一のインスタンス取得
    static SceneManager& Instance()
    {
        static SceneManager instance;
        return instance;
    }

    // 更新処理
    void Update(float elapsedTime);

    // 描画処理
    void Render();

    // GUI描画
    void DrawGUI();

    // シーンクリア
    void Clear();

    // シーン切り替え
    void ChangeScene(Scene* scene);

private:
    Scene* currentScene = nullptr;
    Scene* nextScene = nullptr;
};
```

管理しているシーンの
終了処理を行う関数

SceneManager.cpp

```
#include "SceneManager.h"
```

```
// 更新処理
void SceneManager::Update(float elapsedTime)
{
    if (nextScene != nullptr)
    {
        // 古いシーンを終了処理
        

        // 新しいシーンを設定
        

        // シーン初期化处理
        
    }

    if (currentScene != nullptr)
    {
        currentScene->Update(elapsedTime);
    }
}

// 描画処理
void SceneManager::Render()
{
    if (currentScene != nullptr)
    {
        currentScene->Render();
    }
}

// GUI描画
void SceneManager::DrawGUI()
{
    if (currentScene != nullptr)
    {
        currentScene->DrawGUI();
    }
}

// シーンクリア
void SceneManager::Clear()
{
    if (currentScene != nullptr)
    {
        currentScene->Finalize();
        delete currentScene;
        currentScene = nullptr;
    }
}

// シーン切り替え
void SceneManager::ChangeScene(Scene* scene)
{
    // 新しいシーンを設定
```

ゲームプログラミングⅢ

```
    nextScene = scene;
}
```

シーンマネージャーの実装が出来たらタイトルシーンを表示してみましょう。

Framework.cpp

```
---省略---
#include "SceneTitle.h"
#include "SceneManager.h"

static SceneGame sceneGame;

---省略---

// コンストラクタ
Framework::Framework(HWND hWnd)
    : hWnd(hWnd)
{
    ---省略---

    // シーン初期化
    sceneGame.Initialize();
    SceneManager::Instance().ChangeScene(new SceneTitle);
}

// デストラクタ
Framework::~Framework()
{
    // シーン終了化
    sceneGame.Finalize();
    SceneManager::Instance().Clear();

    ---省略---
}

// 更新処理
void Framework::Update(float elapsedTime)
{
    ---省略---

    // シーン更新処理
    sceneGame.Update(elapsedTime);
    SceneManager::Instance().Update(elapsedTime);
}

// 描画処理
void Framework::Render(float elapsedTime)
{
    ---省略---

    // シーン描画処理
    sceneGame.Render();
    SceneManager::Instance().Render();
}
```

ゲームプログラミングⅢ

```
// シーンGUI描画処理
sceneGame.DrawGUI();
SceneManager::Instance().DrawGUI();

---省略---
}

---省略---
```

実装が終わったら実行確認をしてみましょう。
下図の画面になっていれば OK です。



次はタイトルシーンからゲームシーンへ遷移させましょう。
ゲームシーンを今回作成したシーン遷移システムに対応させましょう。

SceneGame.h

```
---省略---
#include "Scene.h"

// ゲームシーン
class SceneGame
class SceneGame : public Scene
{
public:
    ---省略---
    ~SceneGame() {}
    ~SceneGame() override {}

    // 初期化
    void Initialize();
```

Scene クラスを継承し、
override キーワードを付ける

ゲームプログラミングⅢ

```
void Initialize() override;

// 終了化
void Finalize() override;

// 更新処理
void Update(float elapsedTime) override;

// 描画処理
void Render() override;

// GUI描画
void DrawGUI() override;

---省略---
};
```

対応できたらタイトルシーンで何かボタンを押したらゲームシーンへ遷移するプログラムを実装しましょう。

SceneTitle.cpp

```
---省略---
#include "System/Input.h"
#include "SceneGame.h"
#include "SceneManager.h"

---省略---

// 更新処理
void SceneTitle::Update(float elapsedTime)
{
    GamePad& gamePad = Input::Instance().GetGamePad();

    // なにかボタンを押したらゲームシーンへ切り替え
    const GamePadButton anyButton =
        GamePad::BTN_A
        | GamePad::BTN_B
        | GamePad::BTN_X
        | GamePad::BTN_Y
        ;
}
```

ゲームを起動してタイトルシーンからゲームシーンへ遷移することができれば OK です。

ゲームプログラミングⅢ

○ローディング画面

タイトルからシーンに切り替わす際に新しいシーンの初期化処理をします。

シーンの初期化処理でモデルやエフェクトなどのリソースを読み込みますが、この読み込み処理が長いと画面が止まってしまいます。

ゲームでは画面が止まって見えることはできるだけ避けたいので、リソースの読み込みをしている間は **Now Loading...** などの演出を入れることが多いです。

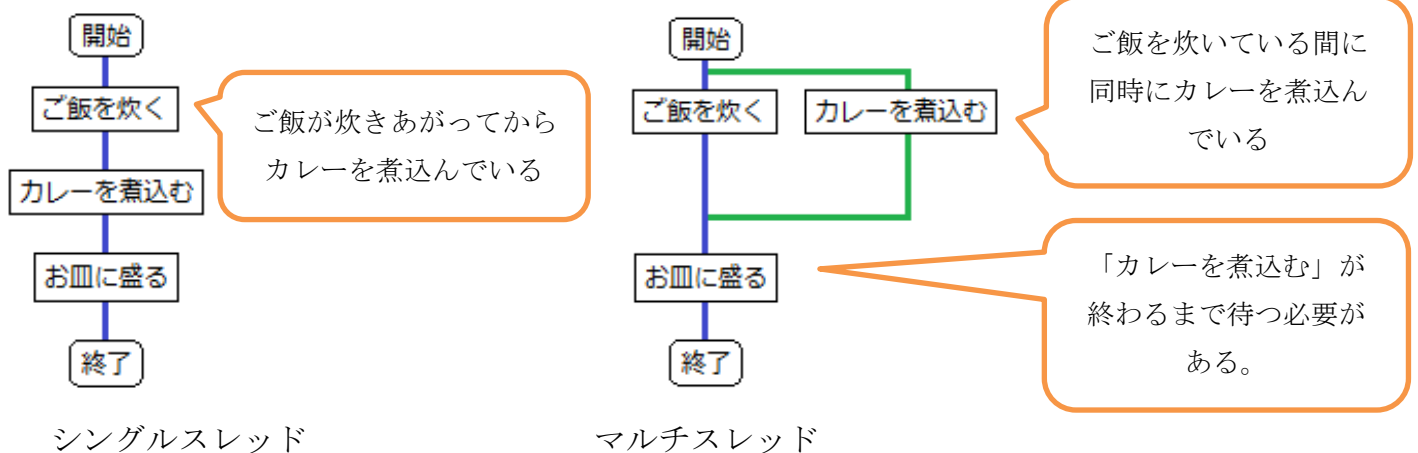
この **Now Loading...** 演出を入れるにはマルチスレッドによる並列処理が必要になってきます。

○マルチスレッド

マルチスレッドとは並列でプログラムを処理することによって処理時間を短縮するための機能です。

皆さんはマルチスレッドを使っておらず、シングルスレッドでのプログラムをしています。

イメージをつけるためにプログラムを「カレーを料理する」場合に置き換えて考えてみましょう。



カレーを料理する場合、「ご飯を炊く」、「カレーを煮込む」「お皿に盛る」の3工程が必要とします。この場合、「ご飯を炊く」と「カレーを煮込む」は同時にできそうです。

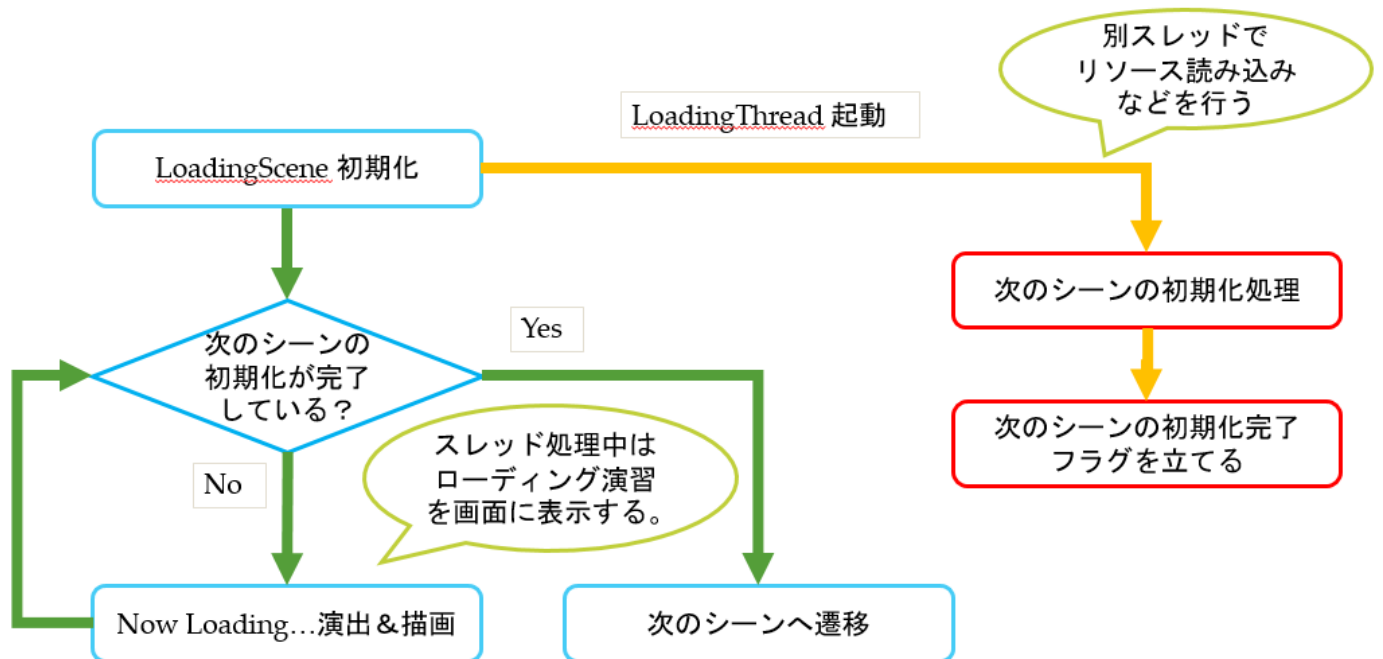
「お皿に盛る」は「ご飯を炊く」と「カレーを煮込む」が完了していないとできません。

シングルスレッドでも処理はうまくいくのですが時間が長くかかるので時間短縮のためにマルチスレッドで同時作業をしようという考えです。

○ローディング処理

今回はマルチスレッドを利用してローディングシーンを作成します。

ローディングシーンの処理の流れは下図のような感じです。



1. タイトルシーンなどと同じ手順でローディングシーンを実装します。
2. ローディングシーンはコンストラクタで次に遷移したいシーンを受け取ります。
3. シーンマネージャーにローディングシーンを渡し、シーンを切り替えます。
4. ローディングシーン初期化時に新しいスレッドを立ち上げ、次のシーンの初期化をします。
5. ローディングシーンは次のシーンの初期化が終わるまで **Now Loading** を表示し続けます。
6. 次のシーンの初期化が終わるとローディングシーンは新しいシーンへ切り替えます。

この流れで実装すると今のシーン遷移システムをほぼ変更することなく実現できそうです。

○ローディングシーン

マルチスレッドとローディング処理の流れを理解したところでローディングシーンを実装しましょう。

SceneLoading.cpp と SceneLoading.h を作成し、下記プログラムコードを記述しましょう。

SceneLoading.h

```

#pragma once

#include "System/Sprite.h"
#include "Scene.h"

// ローディングシーン
class SceneLoading : public Scene
{
public:
    SceneLoading() {}
  
```

```
~SceneLoading() override {}

// 初期化
void Initialize() override;

// 終了化
void Finalize() override;

// 更新処理
void Update(float elapsedTime) override;

// 描画処理
void Render() override;

// GUI描画
void DrawGUI() override;

private:
    Sprite* sprite = nullptr;
    float angle = 0.0f;
};
```

SceneLoading.cpp

```
#include "System/Graphics.h"
#include "System/Input.h"
#include "SceneLoading.h"
#include "SceneManager.h"

// 初期化
void SceneLoading::Initialize()
{
    // スプライト初期化
    sprite = new Sprite("Data/Sprite/LoadingIcon.png");
}

// 終了化
void SceneLoading::Finalize()
{
    // スプライト終了化
    if (sprite != nullptr)
    {
        delete sprite;
        sprite = nullptr;
    }
}

// 更新処理
void SceneLoading::Update(float elapsedTime)
{
    constexpr float speed = 180;
    angle += speed * elapsedTime;
}

// 描画処理
```

```
void SceneLoading::Render ()
{
    Graphics& graphics = Graphics::Instance();
    ID3D11DeviceContext* dc = graphics.GetDeviceContext();
    RenderState* renderState = graphics.GetRenderState();

    // 描画準備
    RenderContext rc;
    rc.deviceContext = dc;
    rc.renderState = graphics.GetRenderState();

    // 2Dスプライト描画
    {
        // 画面右下にローディングアイコンを描画
        float screenWidth = static_cast<float>(graphics.GetScreenWidth());
        float screenHeight = static_cast<float>(graphics.GetScreenHeight());
        float spriteWidth = 256;
        float spriteHeight = 256;
        float positionX = screenWidth - spriteWidth;
        float positionY = screenHeight - spriteHeight;

        sprite->Render(rc,
            positionX, positionY, 0, spriteWidth, spriteHeight,
            angle,
            1, 1, 1, 1);
    }
}

// GUI描画
void SceneLoading::DrawGUI ()
{
}
```

画面右下にローディングアイコンが表示され、アイコンが回転しているだけのシーンです。

まず、このシーンが正しく表示されるか確認しましょう。

タイトル画面でボタンを押した際、ゲームシーンに切り替える代わりにローディングシーンに切り替えましょう。

SceneTitle.cpp

```
---省略---
#include "SceneLoading.h"

---省略---

// 更新処理
void SceneTitle::Update(float elapsedTime)
{
    ---省略---

    // なにかボタンを押したらローディングシーンへ切り替え
    ---省略---
```

ゲームプログラミングⅢ

```
if (gamePad.GetButtonDown() & anyButton)
{
    SceneManager::Instance().ChangeScene(new SceneGame);
    SceneManager::Instance().ChangeScene(new SceneLoading);
}
```

---省略---

実装出来たら実行確認をしてみましょう。

右下にローディングアイコンが表示され、ぐるぐる回っていれば OK です。



ゲームプログラミングⅢ

次はローディングシーンからゲームシーンへ遷移する処理を実装しましょう。
まず、ローディングシーン初期化処理時に新しくスレッドを作成します。
スレッドの作成には `std::thread` クラスを使用します。

先ほどのご飯とカレーを例にして、一般的なスレッドの使い方を見てみましょう。

```
#include <thread>

void CookingRiceThread()
{
    printf("ごはんを炊く");
}

void CookingCurryThread()
{
    printf("野菜を切る");
    printf("肉を炒める");
    printf("カレーを煮込む");
}

void main()
{
    // ご飯をつくるスレッドを立ち上げる
    std::thread cookingRiceThread(CookingRiceThread);
    // カレーをつくるスレッドを立ち上げる
    std::thread cookingCurryThread(CookingCurryThread);

    // ご飯が出来上がるまで待つ
    cookingRiceThread.join();
    // カレーが出来上がるまで待つ
    cookingCurryThread.join();

    // ご飯とカレーが出来たので盛り付ける
    printf("盛り付けをする");
}
```

スレッド内で処理される関数。
関数の処理が終了すると
スレッドが消える

スレッドを立ち上げる時は
`std::thread` のコンストラクタに
スレッド内で処理する関数を渡す。

`join()`関数でスレッドが
終了するまで待つ

使い方がなんとなくわかったでしょうか。

上記の方法は `main()`関数内で別スレッド処理が終わるまで待っていますが、今回は毎フレーム `Now Loading` のアニメーションは更新し続けたいのでメインスレッドで `join()`関数を使って待つわけにはいきませんので今回は違った方法で実装していきます。
`Scene.h` を開き、下記プログラムコードを追記しましょう。

`Scene.h`

```
---省略---

// シーン
class Scene
{
public:
    ---省略---
```

```
// 準備完了しているか
bool IsReady() const { return ready; }

// 準備完了設定
void SetReady() { ready = true; }

private:
    bool    ready = false;
};
```

SceneLoading.h

```
---省略---
#include <thread>

// ローディングシーン
class SceneLoading : public Scene
{
public:
    SceneLoading() {}
    SceneLoading(Scene* nextScene) : nextScene(nextScene) {}

    ---省略---

private:
    // ローディングスレッド
    static void LoadingThread(SceneLoading* scene);

private:
    ---省略---
    Scene* nextScene = nullptr;
    std::thread* thread = nullptr;
};
```

コンストラクタで
ローディング後の
次のシーンを設定

SceneLoading.cpp

```
---省略---

// 初期化
void SceneLoading::Initialize()
{
    ---省略---

    // スレッド開始
    
}

---省略---

// 終了化
void SceneLoading::Finalize()
{
    // スレッド終了化
```


ゲームプログラミングⅢ

```
    }  
    ---省略---  
}  
  
// 更新処理  
void SceneLoading::Update(float elapsedTime)  
{  
    ---省略---  
  
    // 次のシーンの準備が完了したらシーンを切り替える  
      
}  
  
---省略---  
  
// ローディングスレッド  
void SceneLoading::LoadingThread(SceneLoading* scene)  
{  
    // COM関連の初期化でスレッド毎に呼ぶ必要がある  
    CoInitialize(nullptr);  
  
    // 次のシーンの初期化を行う  
      
    // スレッドが終わる前にCOM関連の終了化  
    CoUninitialize();  
  
    // 次のシーンの準備完了設定  
      
}
```

マルチスレッドでのローディングシーン切り替えの実装が完了したので、タイトルシーンからローディングシーン→ゲームシーンへ遷移するようにしましょう。

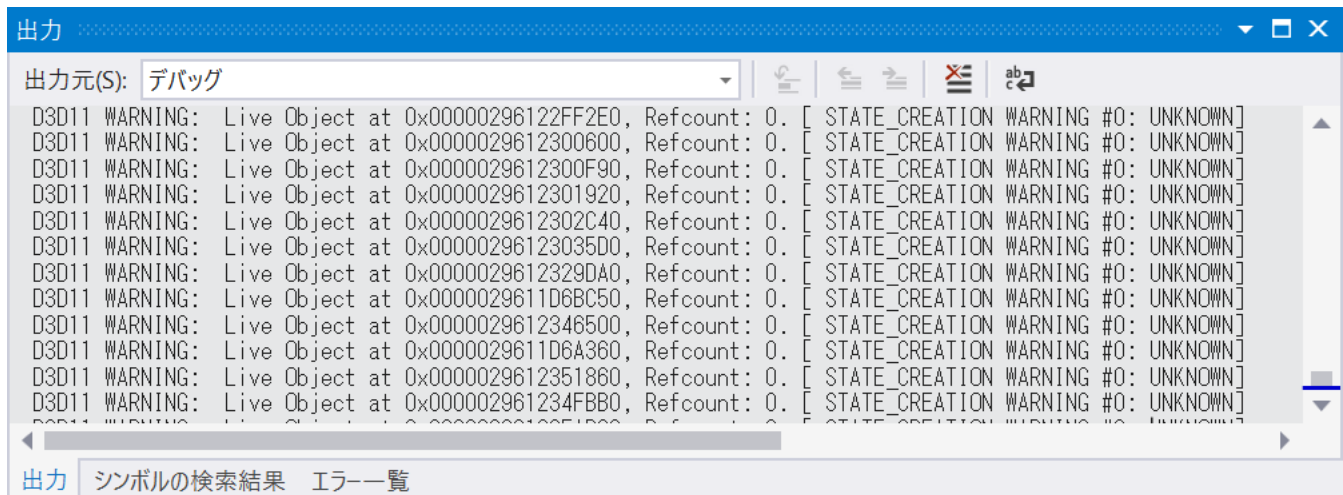
SceneTitle.cpp

```
// 更新処理  
void SceneTitle::Update(float elapsedTime)  
{  
    GamePad& gamePad = Input::Instance().GetGamePad();  
  
    // なにかボタンを押したらローディングシーンを挟んでゲームシーンへ切り替え  
    ---省略---  
    if (gamePad.GetButtonDown() & anyButton)  
    {
```

ゲームプログラミングⅢ

```
}  
}
```

実行してローディング画面を挟んだ後、ゲームシーンへ遷移していれば OK です。
しかし、ゲーム終了後、Visual Studio の出力ウインドウを見てみましょう。
下図のようにメモリリークが起きているはずです。



これはゲームシーンが意図せず 2 回初期化されているためです。
ローディングスレッドで 1 回とローディングシーンからゲームシーンへのシーン切り替え時に 1 回で計 2 回初期化されてしまっています。
シーン切り替え時に重複して初期化をしてしまわないように対応しましょう。

SceneManager.cpp

```
// 更新処理  
void SceneManager::Update(float elapsedTime)  
{  
    if (nextScene != nullptr)  
    {  
        // 古いシーンを終了処理  
        ---省略---  
  
        // 新しいシーンを設定  
        ---省略---  
  
        // シーン初期化処理  
  
    }  
  
    ---省略---  
}
```

実行してメモリリークがなくなれば OK です。
お疲れさまでした。